

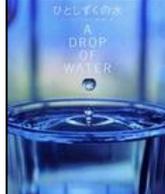


小学校高学年《5・6年生》のみなさんへ

冬休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2013年版]

	書名 作者名 出版社	内容
絵本	「紅玉」  後藤 竜二 文 高田 三郎 絵 新日本出版	りんごの季節になると父はきまってぼくらにおなじ話を語り聞かせました。りんご畑がおそわれ、手当たりしだいにりんごをもぎとってさわいでいたのは、川向こうの炭こうで働かされていた朝鮮(ちょうせん)と中国の人びとの群れでした。
絵本	「ひめねずみとガラスのストーブ」  安房 直子 作 降矢 なな 絵 小学館	風の子なのに寒がりのフーは、「くまストーブ店」で、とびきり上等のガラスのストーブを手に入れました。森の中でゆらゆらゆれる火を見ていたら、小さなひめねずみがやってきて…。心がポツとあたたかくなる絵本です。
絵本	「雪の写真家ベントレー」  ジャクリーン・ブリックス・マーティン 文 エアリー・アゼリアン 絵 金の星社	アメリカのごうせつ地帯にある小さな農村に生まれ、しょうがい雪の研究とけっしょうの写真さつえいにささげたウィリー・ベントレー。世界中の人々に雪の美しさ、しんぴ的なみりよくを伝えた、かれの一生をつづった伝記絵本です。
図書	「賢者の贈り物」  オー・ヘンリー 作 千葉 茂樹 訳 理論社	クリスマスに贈り物をしたいと考えた貧しい2人は、自分の大切なものを売って、相手に1番ふさわしい贈り物を手に入れますが…。表題作をふくむ全8編がおさめられています。
図書	「すみ鬼にげた」  岩城 範枝 作 松村 公嗣 絵 福音館書店	大工見習いの少年ヤスは、奈良の唐招提寺(とうしょうだいじ)で仕事を手伝っていました。ある時、だれかがいないような声を聞いたヤスが、その声のする屋根の方へのぼってみると、そこには一尺(いっしゃく)ばかりの小さな鬼がすわっていて…。

	書名 作者名 出版社	内容
図書	「遠野ものがたり」  宗任 雅子 作 森田 幸子 絵 PHP研究所	不思議な出来事が、口から口へと伝えられた「みちのく」のものがたりの世界へ…。柳田国男(やなぎだくに)の代表作「遠野物語」からこわくて面白くて印象的な7話選ばれています。
図書	「ひとしずくの水」  ウォルター・ウィック 作 あすなろ書房	これからひとしずくの水といっしょに旅をしてみませんか。雲のしずく、雨のしずく、雪を作るしずく…。ひとしずくの水から色々な事が見えてきます。ひとしずくの水の終わりのない旅から自然のおもしろさ、科学的なものの見方を知ることができます。
図書	「百枚のドレス」  エレナー・エステス 作 ルイス・スロボドキン 絵 岩波書店	いつも同じ服を着ているワンダが「あたし、ドレスを100まい持ってる」と言っても、だれも信じませんでした。どんなところでも、どんな人にも起こりうる差別の問題を、むずかしい言葉を使わずにえがいた作品です。
図書	「竜退治の騎士になる方法」  岡田 淳 文・絵 偕成社	その人は、ジェラルドと名のり「おれは竜退治の騎士やねん」と関西弁で言う、どうみても…日本人でした。「夢」さえすてなければ、かならずきせきはおきる？タぐれの学校でおこったふしぎな事件です。
図書	「林業少年」  堀米 薫 作 スカイ エマ 絵 新日本出版	代々続く山持ちの大沢家の長男・喜樹(きじゅ)は、祖父・庄蔵(しょうぞう)の期待を一身に受けていました。家族から「干物(ひもの)」とかげ口をたたかれる庄蔵ですが、百年杉を切りたおす時は「勝負師」に変身します。そのすがたにあっとうされた喜樹は…。